

NPO ピーチハウス

デート DV 防止教育プログラム

NPO ピーチハウスは、ひとり一人が大切にされる社会の構築をめざして暴力の未然防止活動に力を入れています。その一環として、2007年から若い人たちの間で起きているデート DV 防止に取り組み、北海道内各地の中学・高校・大学生および一般成人に対しプログラムを実施し、緊張や恐怖のない「対等で尊重のある関係」の心地良さと大切さを伝えてきました。人権侵害であり犯罪である DV ケースの多くが、結婚前の交際中から DV 関係にあったことが分かっています。また、ストーカー事例の多くが元交際相手によるもので、交際当時から暴力的な関係であったことが少なくありません。特に若い世代では SNS を介してのセク스팅やリベンジポルノなど消せない記録として残り続ける「デジタル暴力」が顕在化し、極めて容易にだれもが加害者にも被害者にもなり得る状況があります。私たちは若い人たちが、できれば交際を始める前に、人権を意識し互いの違いを尊重する関係を学ぶ機会を持つことは、恋愛関係にとどまらず友人間のいじめ防止や自殺防止、ひいては暴力のない社会づくりという観点から、とても重要だと考えています。

ねらい:

受講者に対し、デジタル暴力をはじめ相手をコントロールするために使われる様々な暴力形態を提示し、「力と支配」である DV の構造と現状についての情報を提供する。その上で、他者と「対等で尊重のある」関係を築くためにはどうしたらいいかを考える場をつくる。具体的には、動画・スライド視聴やロールプレイ、グループワークを通して、「対等で尊重のある関係」と「DV にある関係」の違い、そして社会の「暴力容認」と社会と個人双方の固定化した性別役割意識がデート DV を引き起こす要因として深く関わっていることを学び気づいてもらう。

到達目標:

デートDVの構造と現状そして未然防止のための具体的対応を学んだ受講者が、実際の社会生活の場でデート DV 行動をとらない、またとらせない意識を育て、実践につなげていくスタートとすることを目標とする。またこれによって、上下関係ではない、健全な「対等で尊重」のある関係を友達や他者と築きたいと望む意識を育てる。

構成:

プログラムは、以下の3つで構成される。

- 1、事前学習:ホームルーム等を活用しての質問形式型学習(10分程度)
- 2、講座 (60分～120分)
- 3、事後説明:主催した担当教諭・職員対象に、補足説明の実施(要望によって調整)
 - ・デート DV 防止のための具体的対応と資料提示
 - ・デート DV が起きたときの具体的対応と資料提示

講座の進め方

NPO ピーチハウスからファシリテーター1人とアシスタント1人を派遣して進められる参加型の要素を組み入れた講座。「教える」のではなく、ビデオ視聴、ロールプレイ、グループワークなどを通して、受講者みずからが「考え」、「気づき」、そして行動を「選択する」機会を与える。講座の時間は60～90分。